

2026 年 7 月 31 日

座間市議会議員長  
松橋 淳郎 殿

日本共産党座間市議団  
星野 久美子

#### 市議会議員のためのハラスメント研修所感

ハラスメントとは、相手に対する言動が、それを発する本人の意図に関わらず、相手の尊厳を傷つけ、不快感や脅威、そして不利益を与える行為である。

今回の研修では「市議会議員」という立場にある我々が、その優位的立場（本来はそうではないが、勘違いからそう思っている場合）を利用して、市の職員に対し、もしくは市民に対し「無意識」にとる行動・言動が問題であると学んだ。

とりわけ、パワーハラスメントが起こりやすい。これを防ぐためには、常に相手を敬って話をすることが大切だと考える。議員が陥りやすい構造的要因として、「権威性の錯覚」があると学んだ。「市民の代表」という立場を、職員や市民への優越と取り違えてしまう、というものである。これは私自身、思い当たる節がある。徹底的に改善していかなければならない。市議会議員は市民の声を議会に届けるメッセンジャーであること、市民と市政をつなぐパイプ役であること、座間市全体の一つの仕事にすぎない、ということをしっかり自覚していきたい。

また、議会事務局職員は、議員の市議会での仕事がスムーズに進むように働いてくれている。立場こそ違え、同僚のようなもの。その職員に対するハラスメントなどはあってはならないことである。しかし、過去の自身の行動・言動はどうだったのか。これからの行動で示していかなければならないと考える。

昔から「自分がやられて嫌なことは、他人にもしてはいけない」と教えられてきた。もちろんそれもそうだが、「自分は大丈夫だけれど、はたして他人もそうだろうか」と常に考えることが必要だろう。

言葉を選んで他人と話すことも大切。言葉使いは誰に対しても丁寧でありたい。私が考えるハラスメント防止策はやはり  
「常に他者に対して RESPECT の精神であたる」  
ということだと考える。